

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-36093

(43)公開日 平成6年(1994)5月13日

(51)Int.Cl.⁵

G 1 0 D 3/02

1/08

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号

実願平4-19399

(22)出願日

平成4年(1992)2月15日

(71)出願人 591220609

矢口 恭章

静岡県浜松市文丘町26番1号

(72)考案者 矢口 恭章

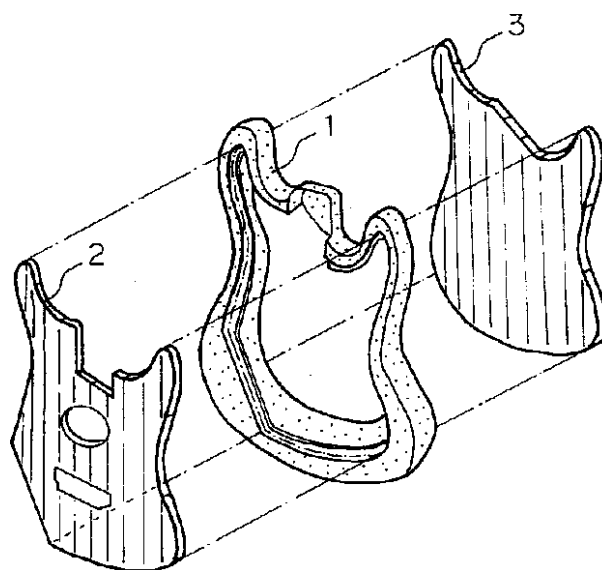
静岡県浜松市文丘町26番1号

(54)【考案の名称】 ギター胴部の製造方法

(57)【要約】

【目的】 楽器のギターの中で胴部が中空構造のものは、箱型の構造方法である為に演奏性が向上していない、その欠点をのぞくのが目的であった。

【構成】 プラスティック成型で一体構造の胴側部(1)を作り、その表側に表板(2)を貼り付け、裏側に裏板(3)を付けることにより、ギター胴部に曲面部を多く用いることができ、音質を損なわずに演奏性を向上することが可能となり、さらに強固で、取扱いが容易となった。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

1. (イ) ギターの胴の側面部をプラスチック成型し、曲面構造で一体の側部(1)を作る。
 (ロ) 側部(1)の内周に設けた溝に、ギター表板(木板)(2)を嵌め込み、側部(1)と表板(2)を接着する。
 (ハ) さらに、反対側の側部(1)の内周に設けた溝に、ギターの裏板(木板)(3)を嵌め込み、側部(1)と裏板(3)を接着する。

* 以上の如く構成された、中空構造をもつギターの胴。

【図面の簡単な説明】

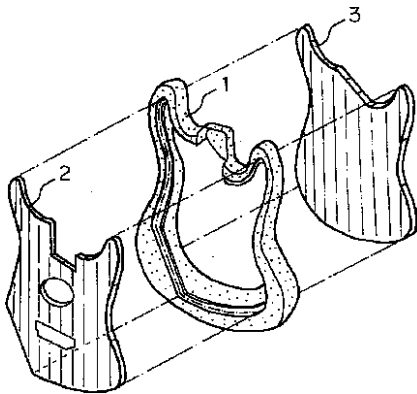
第1図は本考案の組立図
 第2図は本考案の正面図
 第3図は本考案の側面図(断面図)
 第4図は本考案の底面図(断面図)

(1)は側部

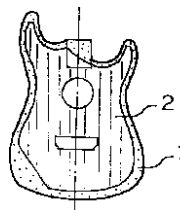
(2)は表板

* (3)は裏板

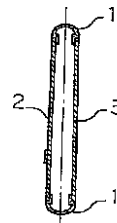
【第1図】



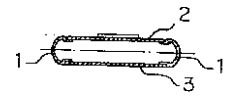
【第2図】



【第3図】



【第4図】



【考案の詳細な説明】

この考案は、ギターの胴部に関するものである。

従来のギターの中で、胴が中空構造のギターは、側板が表板の外周の端で、垂直に接合されている為に、ギターのデザインの自由度に限界があり、演奏性が悪い。

本案は、これらの欠点を除くために考案されたもので、これを図面について説明すれば、

(イ) ギターの胴の側面部を、プラスチック成型し、曲面構造で一体の側部(1)を作る。

(ロ) 側部(1)の内周に設けた溝に、ギターの表板(木板)(2)を嵌め込み、側部(1)と表板(2)を接着する。

(ハ) さらに 反対側の側部(1)の内周に設けた溝に、ギターの裏板(木板)(3)を嵌め込み、側部(1)と裏板(3)を接着する。

本案は、以上のような構造であるので、ギターの胴部は中空構造でありながら、自然で自由なデザインが可能となり、独特の音色を発生することが出来る。さらに演奏性が向上すると共に、従来の中空洞のギターに比べ、強固であるので、演奏旅行や劇場での破損に強く、取扱いが容易である。